

103-250

問題文

45歳男性。「最近、肩こりや腰痛がひどく、寝付きも悪く、しだいに朝起きるのがつらくなった。不安感が強く、仕事を楽しんでいることもなくなり、職場に行くことが苦痛である。」と訴え心療内科を受診し、以下の処方箋を持って薬局を訪れた。

(処方1)

ロラゼパム錠 1 mg	1 回 1 錠 (1 日 3 錠)
チザニジン塩酸塩錠 1 mg	1 回 1 錠 (1 日 3 錠)
	1 日 3 回 朝昼夕食後 7 日分

(処方2)

ラメルテオン錠 8 mg	1 回 1 錠 (1 日 1 錠)
	1 日 1 回 就寝前 7 日分

お薬手帳記載事項 (現在服用中の薬剤)

ニフェジピン徐放錠 40 mg (24 時間持続)	1 回 1 錠 (1 日 1 錠)
ブラバスタチンナトリウム錠 10 mg	1 回 1 錠 (1 日 1 錠)

問250

薬剤師の服薬指導の内容として、適切なのはどれか。2つ選べ。

1. 眼圧低下が起こることがありますので、物がはずんで見えたり、視野が暗くなったりしたら、すぐに薬剤師に相談してください。
2. 立ち上がる際は、ゆっくりと立ち上がり、めまいやふらつきに注意してください。
3. 薬の影響で、尿や汗に赤い色がつくことがあります。
4. 自動車の運転等の危険を伴う機械の操作は避けてください。

問251

1週間後、以下の処方3が追加された処方箋を持って、再度薬局を訪れた。

(処方3)

フルボキサミンマレイン酸塩錠 25 mg	1 回 1 錠 (1 日 2 錠)
	1 日 2 回 朝夕食後 7 日分

この患者が服用している薬剤の中に追加薬剤と併用禁忌のものが2つあるため、処方を追加した医師に疑義照会を行った。併用によって生じる副作用に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。

1. アドレナリン α_2 受容体が過剰に刺激され、著しい血圧低下が現れる。
2. Ca^{2+} チャネルが過剰に阻害され、著しい血圧上昇が現れる。
3. γ -アミノ酪酸 GABA_A 受容体が過剰に活性化され、著しい筋弛緩作用が現れる。
4. メラトニン受容体が過剰に刺激され、催眠作用が著しく増強される。
5. HMG-CoA還元酵素が過剰に阻害され、横紋筋融解症の発症リスクが高まる。

解答

問250 : 2, 4問251 : 1, 4

解説

問250

ロラゼパムは Bz 系抗不安薬です。チザニジンは $\alpha 2$ 受容体作動薬です。筋弛緩薬として用います。ラメルテオン（ロゼレム）はメラトニン受容体作動薬です。ニフェジピンは Ca拮抗薬で降圧薬です。プラバスタチンは HMG-CoA還元酵素阻害薬です。

降圧薬を飲んでいるため、今回の処方チザニジンの作用により血圧低下のおそれがあります。起立性低血圧に注意してもらうために、ゆっくり立ち上がりめまいやふらつきに注意するよう指導します。

また、ロラゼパムを毎食後に飲む処方が初めて出ているため、眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので危険を伴う機械の操作を避けるよう指導します。

以上より、問250の正解は2,4です。

問251

チザニジン、及びラメルテオンが、CYP1A2により代謝されるので、フルボキサミンと併用禁忌です。フルボキサミンによりCYP1A2が阻害されるためそれぞれの薬効が過剰になることを避けます。

従って、問251の正解は1,4です。